

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成28年11月11日

**【四半期会計期間】** 第19期第2四半期(自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)

**【会社名】** 株式会社 テイクアンドギヴ・ニーズ

**【英訳名】** TAKE AND GIVE . NEEDS Co. , Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 岩瀬 賢治

**【本店の所在の場所】** 東京都品川区東品川二丁目3番12号

**【電話番号】** 03-3471-6806

**【事務連絡者氏名】** 取締役 管理本部長 谷田 昌広

**【最寄りの連絡場所】** 東京都品川区東品川二丁目3番12号

**【電話番号】** 03-3471-6806

**【事務連絡者氏名】** 取締役 管理本部長 谷田 昌広

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

## 第1 【企業の概況】

## 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第18期 第2四半期 連結累計期間	第19期 第2四半期 連結累計期間	第18期
会計期間	自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日
売上高 (百万円)	28,709	28,852	59,524
経常利益 (百万円)	239	282	1,377
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 又は親会社株主に帰属する 四半期純損失( ) (百万円)	168	35	230
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	152	436	125
純資産額 (百万円)	20,108	19,754	20,385
総資産額 (百万円)	49,066	50,373	49,286
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 又は四半期純損失金額( ) (円)	13.00	2.77	17.77
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	40.6	38.9	41.0
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	802	871	3,731
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,066	1,574	5,471
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	1,638	1,822	476
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	5,307	4,704	3,658

回次	第18期 第2四半期 連結会計期間	第19期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日	自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( ) (円)	16.97	1.76

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

「人の心を、人生を豊かにする」を企業理念として掲げる当社グループは、挙式披露宴会場を「一軒家貸切」とし、「一顧客一担当制」という独自の仕組みによって、一組のお客様のために最高の1日を創り上げる「オリジナルウェディング」にこだわった、クオリティ重視型のハウスウェディング事業を展開しております。

当第2四半期連結累計期間は、国内ウェディング事業と海外・リゾートウェディングの件数増や各種取組みにより、前年比増収増益となりました。

既存店強化の施策として、既存店のリニューアルやドレス、装花、ケーキなどの内製化などの取組みは順調に推移しております。また、経営資源の再配分として一部店舗の譲渡を実施いたしました。

海外・リゾートウェディング事業の強化は、拠点数の増加や販売拠点の拡大などにより、好調に推移しております。

以上の結果、売上高288億52百万円(前年同四半期比0.5%増)営業利益5億74百万円(前年同四半期比108.4%増)、経常利益2億82百万円(前年同四半期比17.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益35百万円(前期は1億68百万円の損失)となりました。

なお、事業別の状況は以下のとおりであります。

#### 国内ウェディング事業

当社グループの主力事業である国内ウェディング事業におきましては、直営店での取扱組数は前年同四半期と比較して115件増となりましたが、平均人数の減少により挙式披露宴単価が下落しました。提携ホテルとの契約期間満了等により、コンサルティング型は取扱組数が前年同四半期比で238件減となりました。また、ドレスや装花の内製化による売上総利益率の改善やコスト削減を継続的に推進した結果、売上高237億43百万円（前年同四半期比0.3%減）、営業利益12億23百万円（前年同四半期比5.0%増）となりました。

#### 海外・リゾートウェディング事業

海外・リゾートウェディング事業におきましては、拠点数は前年同時期と同様ながら、2016年9月札幌サロンのオープンなど、更なる販売網の拡大に取り組んだ結果、第2四半期累計で192件取扱組数が前年と比較し増加しました。また、単価向上やドレスの内製化も堅調に推移し、売上総利益率の改善に寄与しました。この結果、売上高44億55百万円（前年同四半期比9.7%増）、営業利益2億87百万円（前年同四半期は54.6%増）となりました。

### （2）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが8億71百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが15億74百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが18億22百万円の収入となり、この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、47億4百万円（前年同四半期は53億7百万円）となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は8億71百万円（前年同四半期は8億2百万円の収入）となりました。これは主に、減価償却費10億85百万円、敷金及び保証金のリース料相殺額2億26百万円によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は15億74百万円（前年同四半期は20億66百万円の支出）となりました。これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出15億49百万円、ソフトウェアの取得による支出62百万円によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は18億22百万円（前年同四半期は16億38百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入48億56百万円によるものであります。

### （3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

### （4）研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,912,000
計	24,912,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成28年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成28年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,059,330	13,059,330	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株で あります。
計	13,059,330	13,059,330		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成28年7月1日～ 平成28年9月30日		13,059,330		5,264		5,210

## (6) 【大株主の状況】

平成28年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
野尻佳孝	東京都目黒区	2,460,950	18.84
株式会社東京ウエルズ	東京都大田区北馬込 2-28-1	1,045,970	8.01
株式会社ユニマットライフ	東京都港区南青山 2-12-14	529,200	4.05
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC) (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	PETERBOROUGH COURT 133 FLEET STREET LONDON EC4A 2BB UNITED KINGDOM (東京都千代田区丸の内 2-7-1)	497,250	3.81
ウエルズ通商株式会社	東京都大田区北馬込 2-28-1	450,000	3.45
JPMCB NA ITS LONDON CLIENTS AC MORGAN STANLEY AND CO INTERNATIONAL LIMITED (常任代理人 株式会社みずほ銀行)	25 CABOT SQUARE, LONDON E14 4QA, UNITED KINGDOM (東京都港区港南 2-15-1)	276,300	2.12
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク銀行株式会 社)	388 GREENWICH STREET, NY, NY 10013, USA (東京都 6-27-30)	242,090	1.85
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW (常任代理人 株式会社みずほ銀行)	5TH FLOOR, TRINITY TOWER 9, THOMAS MORE STREET LONDON, E1W 1YT, UNITED KINGDOM (東京都港区港南 2-15-1)	186,950	1.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会 社(信託口)	東京都港区浜松町 2-11-3	178,300	1.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株 式会社(信託口)	東京都中央区晴海 1-8-11	170,600	1.31
計		6,037,610	46.23

(注) 信託銀行の信託業務に係る株式数については、当社として網羅的に把握することができないため、株主名簿上の名義での所有株式数を記載しております。

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成28年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 103,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,765,700	127,657	
単元未満株式	普通株式 189,730		
発行済株式総数	13,059,330		
総株主の議決権		127,657	

## 【自己株式等】

平成28年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社テイクアンドギヴ・ ニーズ	東京都品川区東品川2-3-12	103,900		103,900	0.80
計		103,900		103,900	0.80

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成28年7月1日から平成28年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,871	4,917
売掛金	596	797
営業貸付金	1,940	2,051
商品	141	185
貯蔵品	26	28
前払費用	847	812
その他	898	935
貸倒引当金	85	96
<b>流動資産合計</b>	<b>8,237</b>	<b>9,631</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	27,993	28,234
減価償却累計額及び減損損失累計額	12,106	12,586
建物及び構築物(純額)	15,886	15,647
機械装置及び運搬具	162	165
減価償却累計額及び減損損失累計額	143	147
機械装置及び運搬具(純額)	18	18
工具、器具及び備品	4,238	4,479
減価償却累計額及び減損損失累計額	3,360	3,533
工具、器具及び備品(純額)	878	946
土地	10,882	10,894
リース資産	1,050	1,055
減価償却累計額及び減損損失累計額	472	524
リース資産(純額)	578	530
建設仮勘定	995	1,464
<b>有形固定資産合計</b>	<b>29,240</b>	<b>29,501</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	838	759
その他	1,143	1,000
<b>無形固定資産合計</b>	<b>1,981</b>	<b>1,759</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	31	31
関係会社株式	56	35
長期貸付金	537	490
長期前払費用	430	374
敷金及び保証金	7,113	6,823
その他	1,812	1,821
貸倒引当金	154	95
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>9,826</b>	<b>9,480</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>41,048</b>	<b>40,741</b>
<b>資産合計</b>	<b>49,286</b>	<b>50,373</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	2,627	2,411
短期借入金	570	200
1年内返済予定の長期借入金	4,220	6,733
1年内償還予定の社債	100	100
未払金	2,509	1,687
未払法人税等	328	419
賞与引当金	447	475
店舗閉鎖損失引当金	6	-
その他	2,837	3,470
流動負債合計	13,648	15,498
<b>固定負債</b>		
社債	100	50
長期借入金	12,125	12,113
長期リース資産減損勘定	306	267
長期リース債務	553	501
資産除去債務	1,230	1,237
その他	936	951
固定負債合計	15,252	15,121
負債合計	28,901	30,619
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	5,264	5,264
資本剰余金	5,210	5,210
利益剰余金	9,612	9,454
自己株式	213	213
株主資本合計	19,873	19,715
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	30	184
為替換算調整勘定	292	70
その他の包括利益累計額合計	323	114
非支配株主持分	187	152
純資産合計	20,385	19,754
負債純資産合計	49,286	50,373

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	28,709	28,852
売上原価	11,916	11,715
売上総利益	16,792	17,137
販売費及び一般管理費	16,517	16,562
営業利益	275	574
営業外収益		
受取利息	6	3
為替差益	75	-
その他	36	12
営業外収益合計	118	16
営業外費用		
支払利息	126	104
支払手数料	1	2
為替差損	-	152
その他	27	48
営業外費用合計	154	307
経常利益	239	282
特別利益		
投資有価証券売却益	35	-
特別利益合計	35	-
特別損失		
固定資産除却損	25	3
減損損失	20	-
関係会社株式評価損	161	-
店舗閉鎖損失	4	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	11	-
貸倒引当金繰入額	75	-
特別損失合計	298	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	23	278
法人税等合計	130	239
四半期純利益又は四半期純損失( )	154	38
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )	168	35

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失( )	154	38
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	0
繰延ヘッジ損益	28	234
為替換算調整勘定	31	241
その他の包括利益合計	2	475
四半期包括利益	152	436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	164	401
非支配株主に係る四半期包括利益	12	34

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	23	278
減価償却費	1,023	1,085
減損損失	20	-
関係会社株式評価損	161	-
のれん償却額	79	79
敷金及び保証金のリース料相殺額	358	226
賞与引当金の増減額( は減少)	63	27
貸倒引当金の増減額( は減少)	75	10
店舗閉鎖損失引当金の増減額( は減少)	8	-
受取利息及び受取配当金	7	3
支払利息	126	104
有形固定資産除却損	25	3
投資有価証券売却損益( は益)	35	-
売上債権の増減額( は増加)	184	215
営業貸付金の増減額( は増加)	106	109
仕入債務の増減額( は減少)	18	185
前払費用の増減額( は増加)	40	34
未払金の増減額( は減少)	241	558
前受金の増減額( は減少)	239	217
その他	445	148
小計	1,072	1,144
利息及び配当金の受取額	5	1
店舗閉鎖損失の支払額	70	6
利息の支払額	123	88
法人税等の支払額又は還付額( は支払)	80	179
営業活動によるキャッシュ・フロー	802	871
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額( は増加)	0	-
有形固定資産の取得による支出	1,976	1,549
ソフトウェアの取得による支出	38	62
投資有価証券の売却による収入	35	-
子会社の清算による収入	-	21
貸付けによる支出	50	-
貸付金の回収による収入	58	47
敷金及び保証金の差入による支出	124	47
敷金及び保証金の回収による収入	94	16
その他	64	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,066	1,574

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	100	370
長期借入れによる収入	4,280	4,856
長期借入金の返済による支出	2,213	2,354
社債の償還による支出	50	50
自己株式の取得による支出	0	0
リース債務の返済による支出	83	64
配当金の支払額	194	193
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,638</b>	<b>1,822</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	73
<b>現金及び現金同等物の増減額（は減少）</b>	<b>348</b>	<b>1,045</b>
現金及び現金同等物の期首残高	4,877	3,658
<b>連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（は減少）</b>	<b>82</b>	<b>-</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,307	4,704

【注記事項】

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針 (企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
給与手当	4,279 百万円	4,398 百万円
賞与引当金繰入額	474	475

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
現金及び預金勘定	5,541百万円	4,917百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	20	-
使途制限付き信託預金	213	213
現金及び現金同等物	5,307	4,704

## (株主資本等関係)

## 1. 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

## 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月28日 取締役会	普通株式	194百万円	15円	平成27年3月31日	平成27年6月12日	利益剰余金

## 2. 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

## 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月27日 取締役会	普通株式	194百万円	15円	平成28年3月31日	平成28年6月15日	利益剰余金

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円)(注)	合計 (百万円)
	国内ウェディング 事業 (百万円)	海外・リゾート ウェディング事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
a. 外部顧客に対する売上高	23,823	4,063	27,886	823	28,709
b. セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	35	54	389	444
計	23,842	4,098	27,941	1,212	29,153
セグメント利益	1,165	186	1,351	60	1,412

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融・クレジット事業、旅行事業等を含んでおります。

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計(百万円)	1,351
「その他」の区分の利益(百万円)	60
セグメント間取引消去(百万円)	2
全社費用(注)(百万円)	1,139
四半期連結損益計算書の営業利益(百万円)	275

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。



## 2. 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円)(注)	合計 (百万円)
	国内ウェディング 事業 (百万円)	海外・リゾート ウェディング事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
a. 外部顧客に対する売上高	23,743	4,455	28,199	652	28,852
b. セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	34	45	225	271
計	23,754	4,490	28,244	878	29,123
セグメント利益	1,223	287	1,511	82	1,594

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融・クレジット事業、旅行事業等を含んでおります。

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計(百万円)	1,511
「その他」の区分の利益(百万円)	82
セグメント間取引消去(百万円)	1
全社費用(注)(百万円)	1,021
四半期連結損益計算書の営業利益(百万円)	574

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( )	13円00銭	2円77銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は親会社 株主に帰属する四半期純損失金額( ) (百万円)	168	35
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額又は普通株式に係る親会社株主に 帰属する四半期純損失金額( ) (百万円)	168	35
普通株式の期中平均株式数(株)	12,956,533	12,955,642

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりませ  
ん。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年11月11日

株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	坂	井	知	倫	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	成	田	孝	行	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社テイクアンドギヴ・ニーズの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ及び連結子会社の平成28年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。